

製品名: PENK ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab15961**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:50-1:300
分子量	33kDa

抗原情報

遺伝子名	PENK
別名	PENK
遺伝子 ID	5179.0
SwissProt ID	P01210
免疫原	AA 範囲: 51-100 のヒトタンパク質からの合成ペプチド

背景

この遺伝子は、タンパク質分解によって複数のタンパク質産物を生成するプレプロタンパク質をコードしています。これらの産物には、ペンタペプチドオピオイドである Met-エンケファリンと Leu-エンケファリンが含まれます。これらはシナプス小胞に貯蔵され、

シナプスに放出されて μ -および δ -オピオイド受容体に結合し、疼痛知覚を調節します。その他の非オピオイド分解産物は、異なる生物学的活性を有する可能性があります。[RefSeq 提供、2015年7月],function:Met-および Leu-エンケファリンは、オピオイド系薬物と競合し、その効果を模倣します。これらは、疼痛知覚やストレス反応など、多くの生理機能に関与しています。PENK(114-133)と PENK(237-258)は、線条体におけるグルタミン酸放出を増加させます。PENK(114-133)は線条体の GABA 濃度を低下させる。PTM:N 末端ドメインには、ジスルフィド結合および/またはプロセッシングに関与すると考えられる6つの保存されたシステインが含まれる。類似性:オピオイド神経ペプチド前駆体ファミリーに属する。

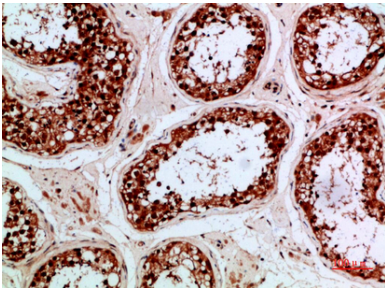
研究分野

-

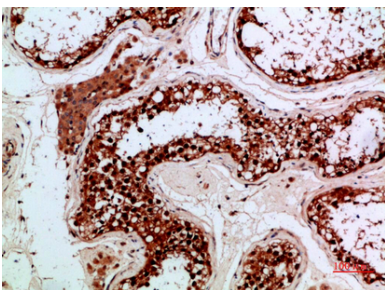
画像データ



1000倍希釈の抗体を用いた NT28 細胞のウェスタンブロット分析。二次抗体は 1:20000 に希釈した。



パラフィン包埋ヒト精巣の免疫組織化学分析、抗体は 1:200 に希釈された



パラフィン包埋ヒト精巣の免疫組織化学分析、抗体は 1:200 に希釈された